

# News Release

2018年3月23日  
日立キャピタル株式会社

## 日本政策投資銀行による「環境格付融資」のお知らせ

—「環境格付」最高ランクを5年連続で取得—

日立キャピタル株式会社(執行役社長兼CEO:川部 誠治/以下、当社)は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:柳 正憲/以下、DBJ)が実施する「DBJ環境格付\*」において“環境への配慮に対する取り組みが特に先進的”という最高ランクの格付を5年連続で取得し、本日、環境格付融資を受けましたので、お知らせします。

当社は、社会インフラや環境・エネルギーなどを伸ばす成長分野と位置付け、日立グループをはじめとしたパートナーとの連携により、社会的課題やお客様のニーズに対し、単なるファイナンスにとどまらないソリューション力の強化を図っています。特に環境・エネルギー分野では、風力や太陽光などの発電システムのリースのみならず、当社グループ会社を通じて発電事業へも参画し、低炭素社会実現への貢献をめざしています。今回のDBJによる「環境格付融資」は、当社とDBJの業務協力協定に基づく取り組みの一環であり、当社が注力する環境・エネルギー分野における活用を予定しております。

なお、「『DBJ環境格付』において高い評価を受けた当社の取り組み」と「当社とDBJの業務協力協定」は、以下のとおりです。

### ■「DBJ環境格付」において高い評価を受けた当社の取り組み

- (1) 国内外のグループ拠点を含めた環境パフォーマンスデータを集計し、温室効果ガス排出量の削減に係る超長期目標を設定するなど、グローバル視点でのEMS体制強化を推進している点。
- (2) 「2016～2018年度 中期経営計画」において、環境・エネルギー事業を通じた環境負荷削減を成長分野に位置付け、風力や太陽光の再生可能エネルギーの機器リースや発電事業、ESCO事業へのファイナンスサポートなど多様なニーズに応じたソリューション提供により、低炭素社会の実現に貢献している点。
- (3) 上記を支える人的資本への取り組みとして、専門知識の向上やグローバル人材の育成に注力するほか、新たに働き方改革「SKYプロジェクト」を始動するなど、経営基盤強化に向けた積極投資を行っている点。

### ■当社とDBJの業務協力協定

当社とDBJは、2015年3月に、両社が強みを有するインフラ、環境、エネルギー、ヘルスケアおよび地域等の分野において、情報やナレッジの共有や、メザニン、投資等のリスクマネー、中長期融資およびリース等の金融サービス提供も含めた業務協力協定を締結しております。

当社は、経営方針に「社会価値創造企業」を掲げており、今後も、地球環境に配慮しながら金融サービスにとどまらない新しい価値を創造し社会に提供していきます。

\* DBJ環境格付: DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により企業の環境経営を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて3段階の適用金利を選定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニュー。

■報道機関お問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当:川島、宮崎]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 03-3503-2118 (直通)

以上